

< 2004年6月2日プレスリリース >

<http://narc.naro.affrc.go.jp/chousei/shiryou/press/unka/unka.htm>

ウンカの海外からの飛来を高精度に予測するシステムを開発

< 当該研究成果のポイント >

中央農業総合研究センター、九州沖縄農業研究センターおよび日本原子力研究所は、世界で初めて害虫の長距離移動を高精度に予測するシステムを開発しました。

イネの重要害虫であるウンカは梅雨時期に中国などのアジア地域から南西風に運ばれて日本の西日本各地に飛来するため、適切な防除を行うにはウンカが日本のどの地域にいつ飛来するかを予測する必要があります。今までの気象情報を利用した飛来予測は、上空の風の情報のみを利用した平面的な解析のため、予測精度が低いという問題点がありました。

そこで今回、立体的な空間（鉛直方向に20層）での飛来シミュレーションモデルを開発し、そのモデルとオンライン気象データを利用したリアルタイムでの飛来予測システムを開発しました。このシステムにより、2日先まで日本のどの地域にウンカが飛来するかを予測できます。今年から実用システムとして予測を開始し、予測結果は次のホームページで公開されています（<http://agri.narc.affrc.go.jp/indexj.html>）。2003年の予測の的中率は74%で、2004年は85%でした。

< 期待される効果・今後の展開など >

高精度のウンカの飛来予測システムにより飛来の状況が詳しく分かることから、適切な防除が可能になります。

さらに今後、発生地帯でのウンカの密度が分かれば、飛来量の予測が可能になることが期待されます。

< 研究所名 > （独）農業・生物系特定産業技術研究機構

中央農業総合研究センター・九州沖縄農業研究センター

日本原子力研究所

< 担当者名 > 中央農業総合研究センター

虫害研究部虫害防除システム研究室 渡邊朋也

農業情報研究部グリットコンピューティングチーム

大塚彰

九州沖縄農業研究センター

地域基盤研究部害虫管理システム研究室 松村正哉

日本原子力研究所東海研究所

環境科学研究部 茅野政道、古野朗子

< 連絡先 > 中央農業総合研究センター 企画調整部 情報資料課

前田榮一

電話 029-838-8979

